

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		商店街街路灯LED化促進支援				所管	文化産業観光部 産業振興課		
事務事業の概要	行政計画	あり	事業NO.	18	計画事業名	商店街省電力型街路灯整備支援			
	長期総合計画体系	[基本目標] I-1. 産業の活性化					事業の開始・終了年度		
		[小 柱] (2)地域経済の活性化							
		[施策] ① 商店街の意欲を活かした振興[7]							
	根拠法令等	要綱		〔法令等名〕	台東区商店街振興事業実施要綱、台東区商店街振興事業補助金交付要綱				
	事業対象	商店会							
	事業目的	東京都の特定施策推進型商店街事業を活用し、アーチ・街路灯ランプをLEDランプへ交換した際に、その経費の一部を補助することにより、商店会の省エネ化を推進する。							
	事業内容	補助率:1/10 限度額:1,500万円							
委託の有無	なし		委託内容						
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)			目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度	
	活動指標	助成件数 件			2	2	1	1	
	成果指標	実施商店会数 商店会			2	2	1	1	
	決算額 (単位:千円)					3,815	495	263	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト (人件費など)				2,250	1,250	1,278	
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)							
		その他のコスト (扶助費・補助費など)				3,815	495	263	
		総経費				6,065	1,745	1,541	
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)								
	その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)								
	一般財源 (区負担額)				6,065	1,745	1,541		
前年度から改善した事項		当事業の必要性等を商店会に対して積極的に周知した。							
評価の視点		評価	評価の理由						
	必要性	4	街路灯などをLED化することにより、電灯料の削減につながるとともに、環境問題の改善に大きく寄与するため。						
	効率性	3	商店会に対して複数社からの見積り徴収を求めるなど、計画段階から適宜指導・助言を行うことで、事業の効率化を図っているため。						
	手段の適切性	3	補助事業の選定にあたっては、学識経験者・有識者・中小企業診断士等から構成される審査会で審査したうえでやっている。また、商店会に対して早い段階から積極的に指導・助言を行うことで、効果的な事業実施を図っているため。						
	目的達成度	2	当初は達成する予定であったが、商店会の事情による事業中止が1件あったことにより、達成度が50%となったため。						
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)						評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
LED灯の導入は、商店会にとって電灯料の削減につながるだけでなく、環境問題へ配慮や節電対策の観点からも必要性が高い。今後とも商店会に対して積極的に周知を行い、事業を推進していく。なお、環境対策に関する助成制度の拡充に対して商店会からの要望が強いため、本事業に加えて、LED街路灯の設置、壁面緑化、ドライミストの導入等、補助制度を拡充して商店会の環境に対する取り組みを総合的に支援する制度を現在検討している。							維持		